



新型コロナウイルス

→p.19, 107

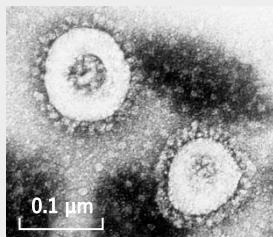


新型コロナウイルス感染症 は、2019年から世界的に流行している感染症であり、報告されているだけでも感染者約1億2800万人、死亡者約280万人という、人類がこれまでに体験したことのない脅威となっている(2021年3月現在)。

新型コロナウイルス感染症は、2019年末に中国の武漢の病院で起こった肺炎患者の集団発生以降、世界中へと広がっていった。動物からヒトにコロナウイルスが感染したことがはじまりとする仮説もあるが、未だ明確な起源はわかっていない。新型コロナウイルス感染症のように、医療機関において突発的に多数の感染症の患者が発生することを **アウトブレイク** という。また、同一の感染症が短期的に世界レベルで発生することを **パンデミック** という。

新型コロナウイルスは、SARS-CoV-2(サーズコロナウイルスツー)と国際ウイルス分類委員会により名付けられており、新型コロナウイルスによる感染症をCOVID-19(コヴィットナインティーン、Coronavirus Disease 2019)とよぶことが世界保健機関(WHO)により決められた。

コロナウイルスは、遺伝物質として1本鎖のRNAを持ち、そのRNAが脂質とタンパク質の殻によって囲まれた球形の構造をもつ。電子顕微鏡で観察すると表面にタンパク質突起が複数見られ、これが王冠に似ていることから、ギリシャ語で王冠を意味する“コロナ”と名付けられた。 **SARS-CoV-2**



SARS-CoV-2以外にもコロナウイルスにはさまざまな種類があり、一般に風邪とよばれている症状のうち、10～15%は4種類のコロナウイルスを原因としている。また、過去に **SARS**(サーズ、重症急性呼吸器症候群、2002年)や **MERS**(マーズ、中東呼吸器症候群、2012年)の流行を引き起こしたのもコロナウイルスであった。

新型コロナウイルスに対するワクチンの開発は急速に進んでおり、2020年3月にはアメリカで初めてヒトに接種された。現在では、複数の国の製薬会社より供給されつつある。しかし、安全性や効果の持続性、大量に生産する技術や市民を受け入れる医療機関の体制など、慎重かつ継続的に状況を把握していく必要がある。

また、ウイルスによる感染症で危惧するべきは、遺伝子の変化によりタンパク質の構造が変わり、ウイルスが新たな特徴を持つ可能性があることである。新型コロナウイルスも例外ではなく、これまで以上に感染力が高いと考えられるものなど、複数の型が報告されている。そのため、治療薬やワクチンの効果が期待できない事態も想定しておくことも必要となる。

新型コロナウイルス感染症の症状は、人によって異なるが、おもに発熱や空咳、倦怠感であり、多くの感染者では軽度から中等度の症状であると考えられている。しかし、もともと別の疾病をもつ患者や高齢者にとっては致命的となり得る。手洗い消毒や、マスクによる飛沫防止など個人でできることを実施していくことが、多くの人々の命を守ることに繋がるといえる。

考えてみよう

●手指についた新型コロナウイルスの排除にアルコールが有効なのはなぜか

思考・判断・表現

A・B・C

主体的な態度

A・B・C

年 組 名前
